

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	公共交通対策事業		担当部署	企画総務部 企画課 交通政策室		
総合計画体系			根拠法令 計画など	道路運送法・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、鳴門市地域バス運行条例		
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり		事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	1	活力都市なると				
(小項目)		交通		終期	未定	
施策	5	公共交通網の充実				
基本事業	2	公共交通機関の確保・充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市営バス・地域バスの利用者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市民生活に必要な移動手段は基本的に確保するとの方針のもと、市営バス撤退に併せ路線の再編を行い、将来的に持続可能な新しい公共交通体系の確立を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		再編済み路線数(全7路線)	2	3	4	7	7	本

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	市内循環線の再編にあたり、アンケート調査を実施し、経路の一部再編に取り組んだ。これまでに再編を行った、里浦栗津運動公園線・高島線について引き続き地域バスとして運行した。鳴門公園線・高島線について、協定路線補助金を交付し継続した運行を確保した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 地域バス・協定路線乗車人数	14,918	38,659	73,378	324,480	324,480	人
	2 鳴門市営バス乗車人数	344,552	285,821	251,102	0	0	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	再編済み路線数(全7路線)	2	3	—	—	—	本
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

※競合調整により高島線5往復(旧7往復)鳴門公園線6往復(旧13往復)を減便し民間バス路線を活用していただいているため、利用者数が減少している。

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	27,571	32,903	35,226	—	—	千円	
	財源内訳	国	8,905	5,927	0			
		県	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他	856	1,042	1,775			
		一般財源	17,810	25,934	33,451			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)	19,551	19,551	19,551	13,034	13,034	人		
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	3.0	3.0	3.0	2.0		2.0	
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費	(事業費と事業にかかる人件費の合計)	47,122	52,454	54,777	—	—	千円	

【事務事業名：公共交通対策事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	引田線・大麻線・北泊線の再編方法を検討し実施する。時刻や経路等について地元説明会を開催し市民の意見・要望を確認し再編内容へ反映させる。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	交通弱者等が生活するうえで必要な移動手段は市が行うべき事業であり、市営バスの撤退が決定している中、当該事業は必要不可欠である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 公共交通網の充実 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市民の生活の足を確保するため、これまで市営バスが運行してきたバス路線の維持を図るものであり、SRPのスケジュールに沿った再編を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/> ① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。			
<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	様々な選択肢から最適な手法を採用し取り組んでいるが、あらゆる箇所に効率性向上の余地があるとの認識を持って取り組む。	
	<input type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	平成24年度末の市営バス撤退に併せ、円滑な再編に取り組む。再編に際し、市民の利便性の確保を図るとともに、市にとって効率的な再編を行う。再編後に混乱が生じないよう丁寧な周知活動を行う。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成25年度 ▼ 月未定 ▼			
	どのように改革するのか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域バス運行委託仕様の見直しを行い、業務の効率化・経費節減に努める。 ・民間への依頼(路線移譲)である協定路線の協定内容の見直しを図り、経費節減に努める。 ・市営バス路線再編において経路変更等の改善余地が乏しいことから、再編による効果額を活用し関連するサービス面の強化や、新たな手法による交通空白対策について検討を行う。 			